

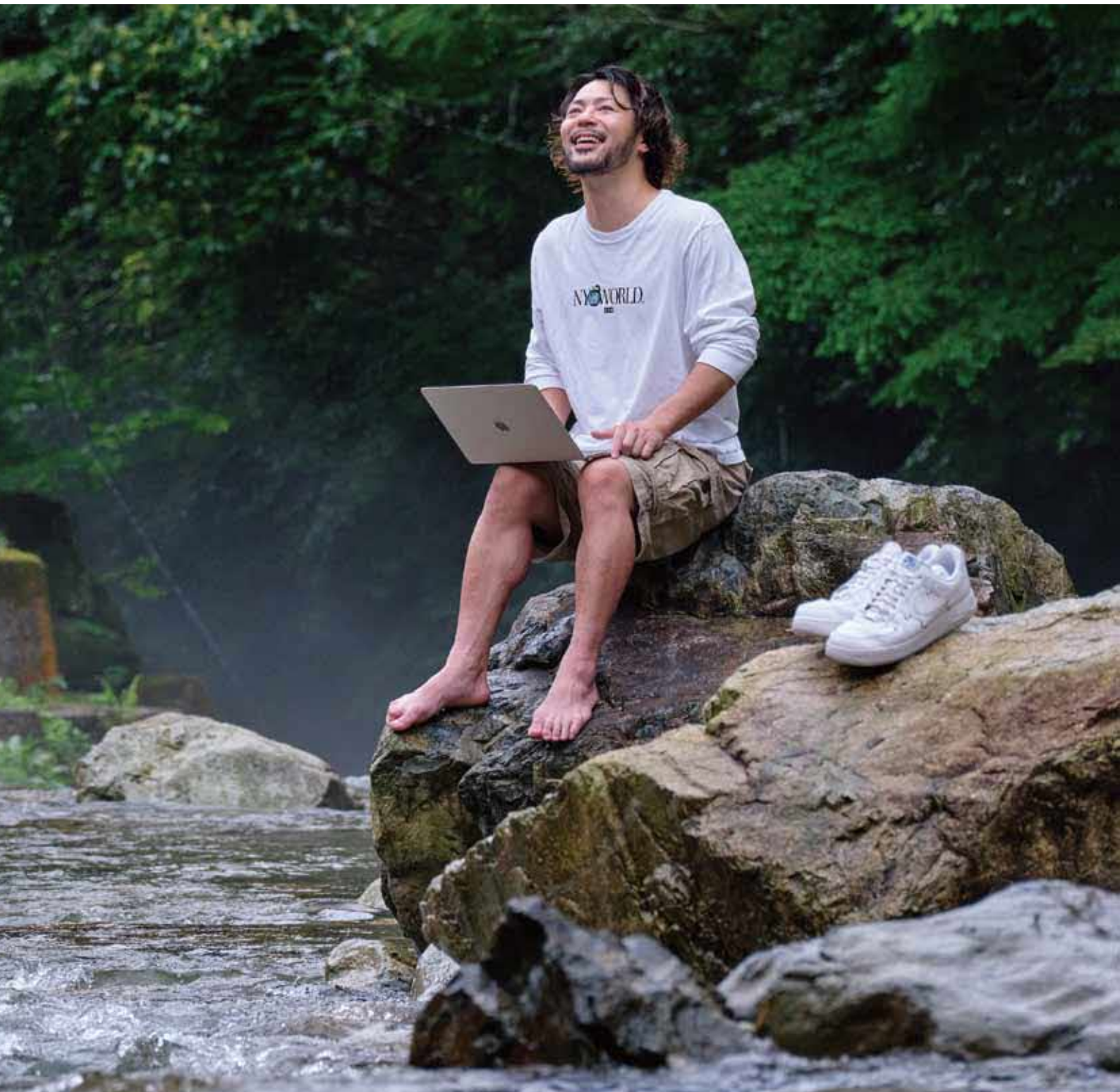
飯 南

いいなん

議会報

第78号
令和6年7月19日

- 2-3 6月議会報告／可決した主な議案
請願・陳情／令和6年度補正予算
令和5年度からの繰越事業の報告
- 4-10 一般質問
- 11 討論／採決の結果
- 12 特集(疑問に答えて)
- 13 大村市訪問記
- 14-15 常任委員会報告
議会活動報告／全員協議会の報告
- 16 明日を拓く



6月定例会を終えて

6月4日から14日までの11日間で開催

今年3月に広島市と「広島広域都市圏に関する連携協約」が締結された。地域資源を圏域全体で活用する様々な施策が展開され、圏域の一体感や活力がさらに高まることが期待される。

令和6年度一般会計補正予算では、以下のような多岐にわたる施策が可決された。

新型コロナウイルス接種助成に1千6百万円余、食品衛生法改正に伴う漬物製造事業者・サツマイモ生産者協議会への支援として1千万円余、保健福祉センターの改修に8百万円余など、総額5千6百万円余の予算を可決した。

その他、令和5年度繰越明許費などの報告案件6件、専決処分の承認案件2件、条例改正や財産の取得など議決案件5件、予算案件5件を可決。請願・陳情をそれぞれ1件採択した。

可決した主な議案

条例関係

飯南町生活改善センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例
飯南町税条例の一部を改正する条例の制定など2件

予算

令和6年度飯南町一般会計補正予算(第1号)など5件

諸議案

財産(消防軽積載車)の取得など5件

報告

令和5年度飯南町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告など6件

請願・陳情

訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について

「請願者」

島根県自治体労働組合総連合

執行委員長 塩治 隆彦

しまね介護福祉ユニオンBONDS

執行委員長 石田 忍

「紹介議員」

伊藤 好晴

「付託委員会」

総務厚生常任委員会

「審査の結果」

一部採択

訪問介護に関する陳情

「陳情者」

雲南地域訪問介護・訪問入浴介護事業者協議会

「付託委員会」

会長 永瀬 幸美

「審査の結果」

総務厚生常任委員会

採択

令和6年度 各会計補正予算

一般会計は5613万円増額に

新型コロナウイルスワクチン接種助成1664万円の増額、食品衛生法改正に伴う漬物事業者への支援・サツマイモ生産拡大支援1040万円の増額、保健福祉センターのLED化等改修工事811万円の増額など

会 計 名		補正予算額	予算総額
一 般 会 計		5613万円	81億1075万円
特別会計	国民健康保険事業	3万円	62万円
	介護保険サービス事業	53万円	3865万円
病院事業会計		▲535万円	11億9234万円
簡易水道事業会計		▲118万円	2億5534万円

令和5年度からの繰越事業の報告

事業の進捗状況により年度内に事業が完了せず、やむなく繰越しとした事業

各 会 計 名		繰越額	主な事業
一般会計	繰越明許	1億9758万円	・農地耕作条件改善事業 ・災害復旧事業
	事故繰越	8536万円	・災害復旧事業
簡易水道事業会計		6715万円	・水道管支障移転工事
下水道事業会計		707万円	・下水道管支障移転工事

自治功労者表彰を 伊藤議員が受賞

2月21日に開催された島根県町村議会議長会定期総会において、議員在職27年以上の功績として、伊藤議員に全国町村議長会会長から表彰状が授与された。





国道54号の改修要望は

景山 登美男 議員

一般 質問

令和6年 6月定例会

いざという時のために



内藤 眞一 議員

Q 飯南町版 防災計画を

地震災害が起きれば、決められている指定緊急避難所を目指す。

大きく安全な避難所であればよいが、木造の集会所等は倒壊している可能性もある。「指定一般避難所」は赤名地域4施設、谷地域3施設、来島地域11施設、頓原地域10施設、志々地域5施設が指定されている。

防災計画で「指定一般避難



頓原農村環境改善センター みせん

所」としてある頓原農村環境改善センター(みせん)への避難者は約400人と想定され、すべてを収容することは不可能で混乱を招くと思う。町としても通信関係・食品・物資等々関係業種と契約し、支障が出ないよう手配はしてあるが、大規模地震時の町民対応、町民の安全行動・支援等に今一度検討が必要と考える。

「飯南町地域防災計画」は、島根県の計画に飯南町の必要部分を付け加えてある状況。防災に対する意識を更に高めるためにも、読みやすく理解しやすい「飯南町版防災計画」を作成すべきだ。

A ダイジェスト版を 検討する

町長塚原隆昭

本町で地震による大きな被害が発生した場合は、ご指摘のように、地域全員の方が指定一般避難所で避難生活をすることを考えると、十分な避難所が確保できているとは言えない。頓原の場合、小中学校が高台にあり、ケースパイケースで考えたい。

災害は備えが重要で、日頃から町民の皆様に災害対策について理解していただくことは大切である。町の災害対



災害訓練の様子(災害対策本部)

策体制や町内の避難所、また日常の防災対策などを理解いただくことは、災害時の被害軽減にもつながる。必要な情報を抜粋したダイジェスト版の作成は、内容も含め検討する。

有事には、すぐ行動に移せることが大事で、訓練していくことが一番だと思う。

町民の皆様に防災に対する理解を深めていただくため、飯南町気象防災アドバイザーによる出前講座を行っている。地域全体で防災に対する理解を深めていただければと思う。

Q 広域行政への 負担は

3月定例会の所信表明で財政健全化について「介護保険、消防、ケーブルテレビ、ごみ処理などの広域行政に係る負担も増加傾向にあり、基金を取り崩していかねば、収支均衡が取れない状況にある」としている。広域行政に係る負担の増加がいかに財政健全化の足かせになっていると解釈せざるを得ないがどうか。

A 効率的運営を

町長塚原隆昭

広域での事業運営にあたっては、適正な事業実施の確認、関係市町で負担金の精査を行い、効率的な運営に取り組む。

Q 赤名・晴雲 両トンネルの改修は

今年1月に「国道54号改良促進期成同盟会」を設置し、2月には、国土交通省や県選出国会議員へ要望活動をされた。国道54号は、陰陽を結ぶ重要路線で、赤名・晴雲両トンネルの老朽化は言われ続けていた。

要望書には両トンネルの改修整備が掲げられている。同時改修は困難だがどう要望するのか。

A まず赤名トンネル から

町長塚原隆昭

国交省へより強固に訴えるため、沿線三市へ期成同盟会の設立を呼びかけ賛同を得た。4市町の担当部課長をメンバーとして「国道54号の勉強会」を設置し、沿線の課題を共有した。

赤名トンネルの早期改修に向け進めたい。その後、晴雲トンネルを要望する。

Q 築立暗渠を 民俗資料館に

明治時代に、山陰と山陽を結ぶ軍用道路として整備された。本町で最も難工事だったのは、赤名峠と都加賀の吹ケ峠であった。この工事の関係で注目すべきは、吹ケ峠からほぼ下りきった麓にある「築立暗渠」である。

築立暗渠は明治18年に着工し、翌19年に完成したもので、中国山地の山奥で石造アーチ構造の長い暗渠は他にはない。大変貴重な土木遺産だと思う。町長が表明された「飯南町民俗資料館」に特別展示室を設けてはどうか。

A 専門部会に諮る

町長塚原隆昭

40メートルを超える暗渠で歴史的に貴重で、アーチ状の石積みは構造物として美しさも感じる。近代化遺産だと認識している、土木遺産への認定も進められている。令和5年3月に高橋悟先生による歴史文化講演会を開催した。

町内外の有識者で構成される「飯南町文化財保護審議会」に諮り検討を進めている。



築立暗渠



道路標識や標示の 早期改善を

伊藤 好晴 議員



一般 質問

令和6年 6月定例会

脱炭素社会への取り組み

高橋 英次 議員



Q 副町長としての 抱負は

飯南町で2か月間生活をした印象、任期中に取り組むこと、どのようなまちづくりを行うのかなど、自己紹介を含めて伺う。

A 「笑顔あふれるまち」 を目指して

副町長 曾田 卓文

● 出身は出雲市斐川町、平成9年から27年間県職員として勤務。

● 飯南町の印象を3点。

①「地域を盛り上げるため」や「飯南町のために」という

発言など、それぞれの立場で飯南町のことを思い、行動する住民の方がとても多い。

②地域において人と人とのつながりが残っており、伝統・文化や地域の行事を大切にしている。

③山や川、田園風景、満天の星空など、素晴らしい豊かな自然が残っている。

●任期中は、町長の公約「人口減少対策」実現にむけ、5つの重点的施策を着実に進めることを第一に考える。

「笑顔あふれるまち」というキーワードを大切に、役場全体が同じ方向を向いて力を発揮できるよう全力を尽くす。



曾田副町長

Q 独自の脱炭素社会 づくりを

本町は、今年1月「飯南町脱炭素のまち推進計画」を発表した。

この計画には、町民の皆さんの深い理解と積極的な取り組みが求められるが、実施に当たっては高齢化社会に優しい対応で臨むべきで、高齢者世帯への住宅改修制度の新設や、省エネルギー設備を備えた高齢者住宅の設置などが必要だ。

また、本町の経済活動に悪影響を及ぼさないことが肝要だ。脱化石燃料が進めば、町内のガソリンスタンドやLPガスなどの燃料販売店の存続が危惧される。

これは、本町の工業・商業・農業をはじめ、すべての経済活動に影響を及ぼし、仕事を求めて生産者人口の流出や、次世代を担おうと頑張る若者の足も都会へと向いてしまう。

「カーボンニュートラル社会を成し遂げ、空気がきれいにして人住まず」となっては本

末転倒も甚だしい。
どう対処するのか。

A 一つ一つ できることから

町長 塚原 隆昭

町民の皆さんには押し付けず、それぞれの生活にあった形で脱炭素に取り組んでもらう。

高齢者向けの住宅改修制度の新設、省エネルギー設備を備えた高齢者住宅を設置との提案だが、高齢者福祉の観点からも検討すべき課題と考え、今後の施策として総合的に判断し検討する。

経済活動への影響において、雇用の場の減少や人口流出は本町の衰退にもつながり、対策については慎重に対応したい。

脱炭素社会の実現に向けては、一つ一つできることを進める。

Q クーリングシェルター どう取り組むか

今年も暑い夏が予想される。市町村長が指定する暑熱避難施設（クーリングシェルター）は具体的にどうするか。

熱中症特別警戒アラートが発出された際の周知はどうするか。

熱中症に対し、最もリスクの高い高齢者への周知は重要である。デジタルを得意としない高齢者などへの周知を懸念する。周知対策を具体的に問う。

高齢者などが居場所を替えるには大きな負担を伴う。移動を助ける施策はどうか考えるか。



A 検討を始める

町長 塚原 隆昭

誰でも利用できるクーリングシェルターの指定を、町内の公共施設について具体的に検討を始める。

「警報が出なくても、避難して構わない」ことを含め、事前に町民に伝える。

高齢者等の移動手段は考えていない。家に居られないほどの暑さのとき、きちんと移動できるよう考える。

Q 横断歩道 表示明瞭に

先日、「子供の安全のため、横断歩道の改善を希望する」という訴えがあり、実際に走行してみた。認識できない横断歩道が多々見られた。

道路標識や道路標示についての認識を問う。併せて改善点を明らかにし、関係機関へ早期の改善を強く要求せよ。

A 具体的資料を示し 要望活動

町長 塚原 隆昭

横断歩道や追越し禁止のオレンジラインが消えている箇所がとても気になる。

県公安委員会へ要望しても、なかなか個別の対応をしてくれない。「やってください」だけでは動いてもらえない。写真を添付するなど具体的な資料をもって要望したい。

Q 災害関連死認定審査 会の設置を急げ

能登半島地震から半年経過したが、震災復興への後処理が進んでいないことに胸が痛む。

中でも、災害関連死への対応遅れが親族の生活再建に大きな影響を与えている。原因は、災害関連死認定審査会の設置が遅れ、災害弔慰金が給付されないところにある。

災害関連死認定審査会の設置は努力義務である。設置は災害発生前に行われていなければ早期復興への足かせになる。本町の現状を質すとともに、条例および審査会の早期設置を求める。

A 審査会の設置を検討

町長 塚原 隆昭

審査会設置の取り組みをしていなかった。遺族からの災害弔慰金の申請後速やかに審査会を開催することが重要で、設置を検討する。



労働力確保は順調か

平石 玲児 議員

一般 質問

令和6年 6月定例会

次の世代につなげる農業を

安部 丘 議員



Q 町道に 防犯カメラを

近隣市町で農機具など乗り物窃盗が発生している。雲南警察署に確認したところ、令和6年1月～3月に、県内の乗り物窃盗は52件(前年比14件増)認知され、検挙は4月30日現在暫定で4件に止まっている。防犯カメラがないと捜査も困難を極めるようだ。

A 公共施設を優先

町長塚原隆昭

「飯南町防犯カメラの設置及び運用に関する要綱」に基づき設置を進めており、公共施設等への設置を優先的に進める。

Q 訪問介護の枠 拡大を

専門業者に委託し3月に完成した高齢者福祉の方向性(報告書)では、介護保険外の支援への要望が一定程度含まれているとある。

この要望を、シルバー人材など有償ボランティアに対応してもらい、費用の一部を町が補助することができれば利用者の希望に添える。

人材不足の介護サービスを補完する本町独自の施策とならないか。

A 生活支援体制 整備事業で検討

町長塚原隆昭

訪問介護の現場にある保険外支援への要望には、社協に委託している「生活支援体制整備事業」で吸い上げ検討する。

Q 農業基盤 どう維持する

国・県が目指す農業大規模化や水田園芸への支援だけでは、中山間地域の将来に渡る農業基盤を維持できない。

中山間地域で圃場を維持してきた多くは兼業農家で、収穫した美味しい米を食べ、家族で就農の喜びを共感してきた。断念し離農するのは、機械の更新が重荷だからだ。

農業基盤を次の世代に繋げるには、農業世帯数を維持する努力が不可欠であり、安心して農業を続けられる支援が必要だ。

町が小型

農機を購入し営農法人に管理委託、農家はこれを有償借用し耕作する仕組みを導入できないか。



次の世代にどうつなぐ

A 地域計画で将来像と 課題を整理

町長塚原隆昭

本町では、認定農業者への農地集積集約と集落営農法人化を推進してきた。飯南町担い手支援センターでは、組織化、法人化を支援しており、今後も推進し農業振興に努める。現在での導入は困難。

本年度、地域農業の10年後の在り方を農業者で話し合い「地域計画」を策定とする。話し合いを通し、具体的な将来像と地域の課題が共有化され、農地を地域で守る意識形成が図られるものと思っている。

Q 協力隊員定着率は

地域おこし協力隊員が地域に定着し、将来的に農業を営むことで地域の活性化や労働力の確保に繋がると考えるが、飯南町の定着率と課題は。

A 全国平均より下

町長塚原隆昭

飯南町の定着率は58.3%で全国平均をやや下回る。隊員が去る理由は、スキルが地域ニーズに合わないこと、サポート体制の不備にある。

業務面は担当課、生活面はまちづくり推進課が支援。OB・OGの協力を得て、退任後も安心して生活できるように取り組む。

募集段階でのマッチングが重要で、面接での情報交換を徹底する。

Q 農業の担い手不足 の対処は

スマート農業の導入は担い手不足の解決手段となるが、これを担う人材の確保と機械購入補助制度の課題がある。どう対処するのか。

A 担い手協議会設立へ

町長塚原隆昭

町の補助事業は国・県のスマート農業事業の上乗せで、水田園芸の6品目に限定。中山間地域では採択されにくい状況で、使いやすい補助事業となるよう県に要望する。

人材の確保は、J Aの指導で一部の農事組合法人がICTを使った実証試験を実施。これを検証し町内に広げる。

「飯南町担い手協議会」が設立予定で、スマート農業に関する勉強会やICT活用の人材育成、法人間の作業連携、農機具の共同利用による経費削減等の取り組みに期待し、町も支援する。

Q 派遣職員不足への 対応は

「飯南町地域づくり協同組合」の派遣職員の不足などの課題と解決策は。

A 増員を検討中

町長塚原隆昭

同組合には25団体が加入、11名の派遣職員が働いている。課題は認識しており、派遣職員の増員や冬季派遣先の事業所の加入を検討中。

増員は財政負担を伴うが、外部からの労働力受け入れは人口増加に繋がるため必要。

Q 外国人の労働環境

人材確保の手段として、外国人技能実習生の受け入れがあり、安心して働ける環境を整えることが求められるが町長の考えは。

A 雇用主を 支援していく

町長塚原隆昭

現在、飯南町には技能実習制度で27名、特定技能制度で11名の外国人在留資格者がいる。外国人に限らず、人材紹介手数料や渡航費用を助成する「飯南町中小企業等人材確保対策事業補助制度」や「飯南町外国人介護福祉人材確保対策事業」で雇用主を支援していく。

人材不足を補うため、外国人人材の確保は重要。職域や地域での交流を活性化させ、今後は民間でのサポート組織も必要と考える。

その他に、自衛隊防衛協力会の設立について質問があった。



スマート農業

一般質問

令和6年
6月定例会

町にもどりたいと思える 子育て施策を

戸谷 ひとみ 議員



Q子育て支援拡充を

町の子育て支援は、社会人になるまでの子育て期間全体からすると偏りがある。金銭的負担が増える高校や大学時代への支援があれば、安心して子どもを産み育てたいと思え、少子化対策や定住促進につながるのではないかと。どの業種でも人材が不足しているので見直す必要があるのでは。

A新たな支援策で

町長塚原隆昭

給付型の奨学金と町独自の奨学金貸付け制度で経済的支援を行っている。歯止めのかからない人口減少や少子化への対策としては、ふるさとに貢献したいという思いを持って飯南町に帰ってきた若者に、積極的な支援が必要であると感じている。

第3次飯南町総合振興計画の中に、必要な支援策を盛り込んでいきたい。

Q生産者との協力を強化した学校給食を

近年、学校給食に使われている地元野菜の割合は約50%である。必要なものを地域でつくれるように（地消地産）、生産者との協力体制を強化すべきでは。野菜の提供農家が高齢化しており、新規参入者をいかにつくっていくかが課題の一つである。

新規参入を希望する生産者に、学校給食に野菜を提供することに関する情報提供を行い、給食センターも含めた意見交換会を開いてはどうか。



生産者から野菜等を集めるぶなの里

A新規参入希望者との意見交換をする

教育長大谷哲也

地元産の食材でつくられる安心安全な給食を提供し、子どもたちに感謝の気持ちを育みたいという思いで、学校給食の魅力化事業に力を入れている。

町も、産直市などの生産者団体に対して、地産地消推進活動支援助成金を交付したり、物価高騰に対応するため学校給食会への補助金も増額したりして、安定的に町内の食材を提供できるように支援している。



給食センターに野菜等を納品します

安心安全な給食の食材として提供してもらうためには、徹底した品質管理や安定的な供給など組織的な対応も必要。個人的に相談するよりは、毎月開催する学校給食出荷連絡会において、年間を通じた必要な野菜の量や、作付計画などの情報を共有しながら体制を整えたい。

産直市などの生産者団体、ベテランの方々と連携して、新規就農者の方などに働きかけて意見交換していく必要がある。



討論

請願

訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について

賛成討論 伊藤 好晴議員

介護職員の賃金引き上げのためには、介護報酬の引き上げではなく、国の資金を投入しないと抜本的な引き上げはできない。特にホームヘルパー不足の解消は不可能。

訪問介護報酬引き下げは、小規模訪問介護事業所を潰し、ホームヘルパー不足に拍車をかける。

必要な人に必要な訪問介護支援ができなくなるため、訪問介護報酬の引き下げを撤回し、引き上げを行うべき。本請願は、条件をつけず採択すべきだ。

反対討論

安部 誠也 議員

雲南地域からの、訪問介護に関する陳情は、地域の実情に合ったものである。

全国自治体から何通も意見書を受ける側の閣僚、役人の混乱を招く。業務の無理、無駄、むらを排除して、行政事務の効率化を図るべきであり反対だ。

賛成討論 熊谷 兼樹 議員

一つ目の項目は、中山間地域や離島など、訪問介護の効率性の悪い地域にとつては死活問題であり、是正されるべきだ。

二つ目の項目は、国庫負担のみに頼らず、全体の保険料、あるいは事業そのものの効率化など総合的に考えて解決すべきであり、一部採択に賛成。



採決の結果 [6月定例会]

議案の採決結果は次のとおりです。

件 名	結果	戸谷ひとみ	平石玲児	安部 丘	景山登美男	安部 誠也	高橋英次	内藤真一	熊谷兼樹	伊藤好晴
飯南町税条例の一部を改正する条例の制定	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和5年度飯南町一般会計補正予算(第10号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町生活改善センターの設置及び管理に関する条例を廃止する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(消防軽積載車)の取得	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町一般会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町介護保険サービス事業特別会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町病院事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度飯南町簡易水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度(交付金)頓原上町団地建設工事(1工区)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
令和6年度(交付金)頓原上町団地建設工事(2工区)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
訪問介護サービス基本報酬の見直しと訪問介護の特別地域加算の対象地域及び事業所要件の見直しを求める意見書の提出について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

[請願・陳情の採択結果]

訪問介護の基本報酬引き下げ撤回等と、介護報酬引き上げの再改定を早急に行うことを求める意見書の提出について	一部採択	○	○	○	○	●	○	○	○	○
訪問介護に関する陳情	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○:賛成 ●:反対 欠:欠席



おおむら花菖蒲まつり会場

友好交流都市 長崎県大村市

2024年5月31日～6月1日

花しょうぶ祭りは、大村市と飯南町との交流をさらに深める良い機会となりました。

おおむら花菖蒲まつり

大村市訪問記

参加議員
高橋英次
安部 丘
平石玲児

初日



車両基地内の「かもめ」

大村市と秋田県仙北市の姉妹都市提携45周年記念行事に特別に参加しました。大村市と仙北市（角館）の縁は、今から156年前の戊辰戦争から始まりました。当時、東北地方で新政府軍として孤立していた秋田佐竹藩に対し、大村藩士をはじめ、各地から応援に駆けつけ、生命をなげうって戦火から守ったことから始まりました。

1979年に姉妹都市提携を結び、45年間にわたり文化交流や経済協力を続けてこられました。この記念行事では、地域の歴史や友情を祝い、今後のさらなる交流を誓い合う場となりました。

二日目

JR九州西新幹線の新幹線基地「大村車両管理室」を見学する貴重な機会を得ました。



おやまばやし

大村車両管理室では、最新の鉄道技術やメンテナンスの工程を学び、興味深い説明を受けました。この見学を通じて、地域のインフラ整備の重要性や技術の進歩に対する理解が深まりました。

花しょうぶ祭り

花しょうぶ祭りは大村公園で開催され、地域の魅力を存分に楽しめるイベントです。171種類、約3万株の色とりどりの美しい花しょうぶが咲き誇る景観は圧巻で、満開の花の傍らでは、飯南町、伊丹市、仙北市の地域の特産品や工芸品の展示・販売コーナーが設けられました。

飯南町からは、一福のそば、観光りんご園のリンゴジュース、森林組合の乾燥舞茸などが販売され、売り切れるほど人気を博していました。

特設会場では、仙北市角館地域

の誇りある伝統の踊り「おやまばやし」が披露され、太鼓や笛の音に合わせて踊る力強いパフォーマンスに触れることができました。

子供たちの交流

昨年夏には、飯南町から大村ポートレース場付近で打ち上げられる花火の見学や、海でのバナナボート遊びなどを体験しています。今年冬には、大村市からスキーなどを体験する行事が予定されており、地域や文化の違いを超えて友情を育む機会があります。

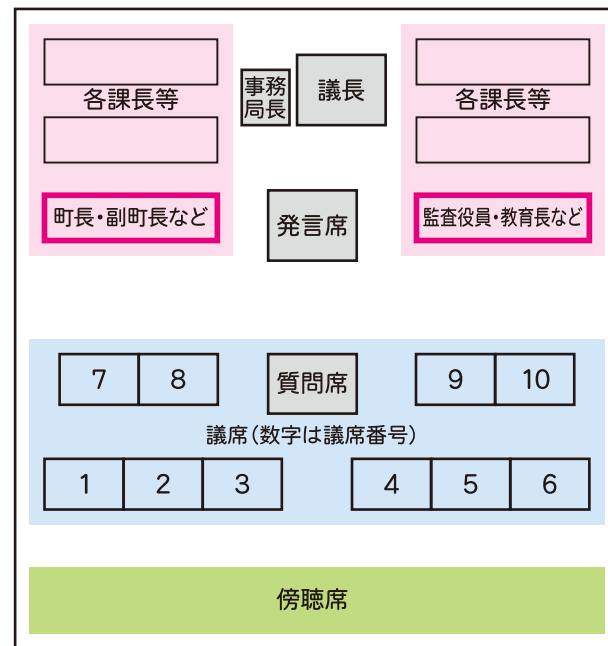
このような子供たちの交流は、将来的な地域間のつながりを強化し、次世代へのさらなる発展が促進されると思います。

地域の魅力を共有し、文化や伝統を次世代に伝える重要な機会ととらえ、今後も続けていくことを期待します。

特集 議会傍聴の疑問に答えて

昨年12月議会の最終日に傍聴に来てくれた赤来中学校3年生(当時)から、感想や質問をいただきました。議会に参加している人が何の役割をしているのか、議場にある台はどんな時に誰が使うのかといった、傍聴したからこそ生まれた疑問点を書いてありました。

そこで、議会のことを住民のみなさんにもっと知っていただき、町政に関心を持っていただきたいと思います。議会報で特集することになりました。今回は、年4回行われる議会(定例会)の初日の様子をご紹介します。



●本会議(初日)

①飯南町議会会議規則に従って、会議録署名議員を議長が指名します。(2名)

②議会運営委員長が会期・日程を提案し、全議員で決定します。

③議長より、議員が出席した主な会議等と議案が報告され、飯南町監査委員より、現金出納検査報告等があります。



監査委員による報告

④議会に届いた請願と陳情があれば、委員会に付託されます。

⑤町長提出議案上程。

⑥町長行政報告及び提案理由の要旨説明。ケーブルテレビで放送され、原稿は町のホームページで公開されます。

⑦担当課長などから議案等について詳しい説明があります。

⑧議員は説明された内容に対する質疑をします。

⑨議案等の審査を本会議の議決に先立って委員会にゆだねます。(委員会付託)



前回の議会報「飯南」第77号の記事、「飯南町議会って何？」もあわせてご覧ください。



教育経済常任委員会

委員長：熊谷兼樹 副委員長：戸谷ひとみ
委員：伊藤好晴 内藤眞一 平石玲児

常任委員会 報告

総務厚生常任委員会

委員長：景山登美男 副委員長：安部誠也
委員：早樋徹雄 高橋英次 安部 丘

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第1号)

農業振興経常管理費 25万円

頓原集落営農組織連絡協議会と赤来担い手連絡協議会が合併するため、新組織設立を支援する補助金。

この両組織は、本町の農業の稲作経営を中心に据え農地の維持を担っているが、昨今の米価低迷、生産コストの上昇、農作業従事者不足や高齢化といった共通の課題を抱えている。技術や経営の情報を共有し、事業の活性化、新たな担い手の育成等を図ることを目的にしている。

委員から、本町でも色々な作物が栽培され、小規模な農家、個性的な農法を目指す農家もある。このような農家はどのようにするのかとの質疑があった。

担当課からは、国は集積によるコスト削減を推進しているが、中山間地域では馴染まないところがある。本年度策定する「地域計画」の話し合いの場で、小規模農家・非農家・外部人材も含め、農業だけでなく地域を守る観点で議論を進めたいとの回答があった。



飯南町担い手協議会（仮称）
集落営農法人部会

園芸振興対策事業 240万円

食品衛生法の改正により、漬物製造施設を整備する事業者を支援するための補助金。

個人補助限度額30万円で3件、グループ補助限度額50万円で3件を予算化している。今後もPRを続け、漬物製造事業の継続を図りたいとの説明があった。

委員から、一方的なアンケートで無回答の多いことが気になる。町の本気度を示すためにも丁寧な意向確認が必要ではないかとの意見があり、この補助金の周知に併せ行いたいとの回答があった。



産直市(漬物)の
陳列棚

園芸振興対策事業 800万円

本町の振興作物であるサツマイモの生産振興を図るため、生産者協議会へ出荷する農業者へ仮払いする資金を貸与するための予算で、年度末までに返済することを貸付条件としている。

委員から、任意団体への貸付を疑問視する意見があり、ヤマトイモ生産者協議会への貸付と同様な扱いをしているが、貸付契約の協議の中で整理したいと回答があった。また、貸付時期についても出荷に併せるべきではとの意見があり、サツマイモ生産者協議会と協議するとの回答があった。

令和5年度 飯南町一般会計補正予算(第10号)

【歳入】
特別交付税 2億1621万円増額(総計6億1621万円)
減債基金繰入金4310万円全額を戻し入れる。

【歳出】
積立金 1億8115万円
減債基金へ1億7004万円、ふるさと応援基金へ5576万円、若者女性応援基金へ534万円を積み立てる。

令和6年度 飯南町一般会計補正予算(第1号)

【歳出】
地域・人づくり事業 300万円
宝くじ助成事業の採択による2団体(東上、北野下)への補助金で、集会所にエアコンと備品を整備する。

新型コロナウイルスワクチン接種対策事業 1664万円

今年の秋から冬にかけて実施する65歳以上及び60歳から64歳の特定疾患のある2100人のうち、接種が見込まれる1230人分のワクチン接種委託料及び事務経費。

価値ある飯南暮らし創生事業 300万円

わっしょい志々会、谷自治振興会、野萱自治区振興会、小田真木自治振興協議会の4地区の4団体が集落計画に沿って実施する事業に対する補助金。

令和2年に要綱が定められてから、この4地区4団体しかこの事業を実施していないことから、他の地区においても魅力ある地域づくりを推し進めることを促すよう求めた。

まちづくり基金積立金 1519万円

国民スポーツ大会に向けた琴引スキー場の施設整備に対する県補助金を、まちづくり基金に積み立てる。

保健福祉センター臨時管理費 811万円

保健福祉センターの照明LED化および床・壁の改修費。床の改修については、業務の支障にならないよう施工することを求めた。

自治集会所等建設費補助金 130万円

獅子クラブ集会所の増改築に要する経費を助成するもので、田舎ツーリズムに関わる事業であることから実費の2分の1を補助する。



獅子クラブ集会所

全員協議会の報告

令和6年4月25日(木)

- ①雲南広域肥育センターの事業継承者公募
- ②町道頓原長谷線改良工事に伴う通行規制
- ③個人住民税の定額減税
- ④高齢者福祉基本計画の方向性

令和6年6月13日(木)

- ①町県民税の課税計算誤り(過大賦課)
- ②観光宿泊交流施設の今後のあり方
- ③飯南町高齢者福祉基本計画の方向性
- ④飯南町教育環境基本計画策定
- ⑤町内小学校いじめ事案

議会活動報告 [4月～6月]

4月2日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
8日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
11日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
18日 総務厚生常任委員会
19日 教育経済常任委員会(森林組合視察)
25日 全員協議会

5月1日 雲南地域議会議長会
17日 雲南広域連合議会視察研修
20～22日 全国町村議会 議長・副議長研修会(東京)
29日 議会運営委員会(6月定例会の提出議案、日程ほかの協議)

6月5/31～6/1日 友好交流都市訪問(大村市)
4日 6月定例会:本会議(町長提出議案の説明、質疑、委員会付託)
7日 :本会議(一般質問)
10日 :委員会審査
11日 :委員会審査
12日 :委員会審査
13日 :委員会審査、予算特別委員会、全員協議会
14日 :本会議(委員長報告、討論、採決)
19日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
27日 議会広報常任委員会(議会広報紙編集作業)
28日 雲南広域連合議会

自然性^{じねんせい}の人を増やしたい

酒井 滉生^{ひろき}さん（真木）

自然性／自分から率先して物事に取り組みエネルギーを周囲に分け与える人

4年前にUターンしました。仕事は完全在宅で、コールセンターのオペレーターを指導しています。

顧客満足度や対応時間などの数字を見て管理しており、現場を知るために電話対応に入ることもあります。答えは一つではありませんので、お客様に合わせた課題の解決方法を提案しています。

故郷を離れ気付いたこと

飯南町はすごいところ。ここに住むメリットしかないじゃんって。朝、鳥の声で起こされる、夜中に車の音がしないのは、自分の心のリズ



子どもたちに体験を提供する地域活動に参加

私が叶えたい夢

こんな素敵な町に対して自分ができることは何かな？という目標を達成したいかな？と考えた時に、飯南町を盛り上げる種をまくことをや

ムに合ってるなと思います。子どもの時の思い出は、外で体験したこと、人と話したこと、友だちと一緒に秘密基地やイカダを作ったことです。家の中だけで完結できることが増えたので、今の子どもたちは、こういうアクティビティをやったことがないんじゃないかと感じます。



昔よく遊んだ思い出の場所

りたいと思いました。「これをやってみたいな」「これ、楽しいかもしれない。ちよつとやってみようかな」って思えるような環境づくりができたら一番いいなと思います。

「〇〇さんちの子だね、おかえり」っていつでも言ってもらえるような環境、安心できる環境、異世代間のつながりも大事にしたいです。それがお互いにアイデアを生む揮発材になるかもしれませんし、顔見知りを増やすことが自分の身を守ることに繋がりますからね。子どもたちが自発的に行動できる、きつかけづくりができる場所（プラットフォーム）を作りたいです。

高校生に伝えたい

柔軟な思考と適度なリスクがとれる（危険があると承知した上で敢えて臨む）ことと、残された時間がたつぷりあることは高校生の強みです。大人になれば失うことへの恐怖心が増え、挑戦できなくなりますからね。

今求められているのは、まさしく、若い世代のチャレンジジャーだと思えます。命を脅かされない範囲の適正なリスクが経験となり、それが価値となり、誰かの救いにもなるのではないでしょう。

そして、大人になっても行動し続け、かついい大人になつて欲しいです。



月に1回のプラットフォームでカードゲーム

今月の表紙写真



田舎にはやりたい仕事がないって思い込んでいませんか？会社以外の場所で仕事をするリモートワークが珍しくなくなり、場所に縛られない働き方を選択できる時代が来ました。こうして自然の中に一人で居ながら、日本中、いや、世界を相手に仕事ができるのです。田舎の可能性にワクワクしませんか？

《キラリ★飯南人》募集中

「明日を拓く」で取り上げてほしい個人・団体などの情報をお寄せください。議会広報委員が取材に伺います。

《応募先》飯南町議会事務局
0854-76-2190



議会広報常任委員会

委員長：戸谷 ひとみ 副委員長：平石 玲児 委員：伊藤 好晴 高橋 英次 安部 誠也 安部 丘

飯南町議会事務局 島根県飯石郡飯南町下赤名880番地 TEL0854-76-2190 FAX0854-76-2867